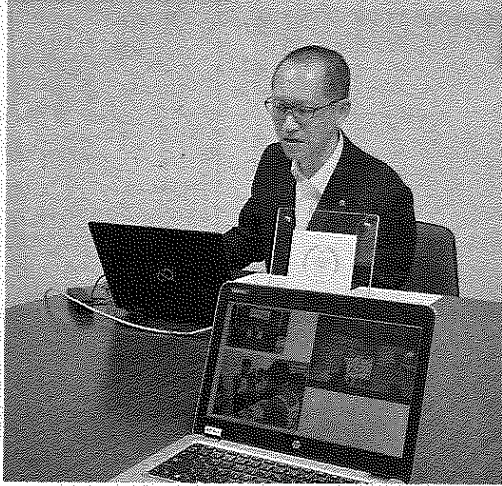


(第3種郵便物認可)

学習アプリ効果的に活用

松本秀峰を運営会社が表彰

松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校が、この運営などを手掛ける会社・スタディプラを活用したICT教育（東京都）の「Studyplus for School Award 2022」の表彰を受けた。開催は5回目で、県内では初の受賞となった。



オンラインで学校の取り組みを紹介する塩畑教頭

松本秀峰は本年度、同社の学習管理アプリなどを6年生に導入し、生徒が家庭学習の計画や記録に活用している。勉強時間や教科バランスなどのデータがグラフで可視化され、同じ大学を目指す全国の仲間の様子も分かる。教員は学習の進捗よく状況が把握しやすく、効果的に指導したり励ましたりできるという。

同校はこれまで、事一教頭は「生徒たちに学習のあり方や教職員前計画に沿った家庭学習の習慣を身に付けるため、1〜6年生ごとの紙のノートで生活や学習の記録を付ける環境があった。デジタル化でペーパーレスや教員の業務効率化にもつながるといふ。塩畑泰

は、計画を立てて実行し、実現する力を付け、将来、社会問題を自らのアイデアで解決する大人になってほしい」と期待している。同社は新しい教育の仕組みづくりを進め、53法人84教室を表彰した。（田中千絵）